

“がんばっぺ！いわき復興祭”における国土交通省パネル展示について（結果）

■展示の概要

展示目的：

平成 23 年 10 月 1 日、2 日に開催された“がんばっぺ！いわき復興祭”において、国土交通省小名浜港湾事務所と磐城国道事務所が合同で「国土交通省における復興の取り組み」として、パネル展示を行いました。

展示月日：平成 23 年 10 月 1 日（土）～2 日（日）午前 10 時～午後 5 時

展示場所：21 世紀の森公園（いわき市）内、「いわきグリーンスタジアム」1 階ロビー

実施主体：国土交通省小名浜港湾事務所、磐城国道事務所

■ 展示内容

小名浜港湾事務所、磐城国道事務所がそれぞれ 4 枚、計 8 枚のパネルを展示。
このうち、磐城国道事務所のパネルは以下のとおり。

- ①「国道 49 号平バイパス内郷高架橋の 4 車線化
平成 24 年度に完成予定！」
- ②「国道 6 号常磐バイパス宮ノ下交差点～六枚内交差点の 4 車線化
平成 26 年度に完成予定！」
- ③「国道 6 号御城前交差点・玉川交差点がスムーズに！
右折レーン等の設置工事を進めています。」
- ④「勿来地区の道路に関するアンケートを行いました。
約 8 割の方が道路の課題を指摘！」

■会場の様子

朝早くから世代を問わず多くの方々にご覧いただきました。多くの方が真剣にパネルをご覧になり、パネル内容に関連するパンフレットも持ち帰られました。



●パネル、パンフレットをご覧になる方々



●質問に答える事務所職員

①

国道49号平バイパス“内郷高架橋”の4車線化 平成24年度に完成予定！

国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所

平バイパスでは、朝夕の渋滞を緩和するために、**4車線に拡幅する工事**を進めています。
内郷高架橋を含む0.9km区間は、**平成24年度の完成**を目指して橋梁の架設工事を実施中です。

内郷高架橋の市道交差点で夜間架設

平成23年7月には、国道49号内郷高架橋の最も北側の市道が交差する地点において、橋梁の架設工事を行いました。



クレーンで橋桁を吊り上げています

クレーンで1本20トン（街中を走るタンクに荷物を満載に積んだ1台分の重さ）の橋桁を合計5本吊り上げて、架設しました。

今後は常磐線や新川の上を通る部分の橋梁架設工事を行う予定です。

内郷高架橋の現場見学

平成22年4月24日（土）、いわき市内郷御厩地区において、現在工事中の橋の現場見学会を行いました。
約30名の地域の方々に参加していただきました。

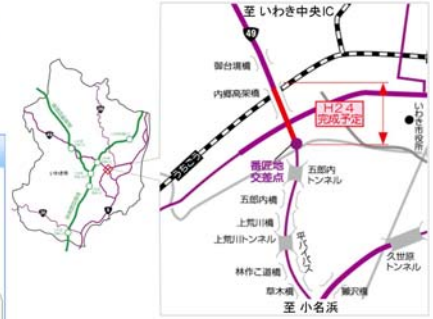


橋の上に登って、完成してからは見ることができない鉄筋の様子を見学したよ。



橋の上でお絵かきしたよ。

現場見学を希望される方は、下記に申し込んでね。
申し込み先 平出張所 TEL0246-34-8394



完成すると好間方面に2車線で走行可能に！

【完成イメージ図】

②

国道6号常磐バイパス“宮ノ下交差点～六枚内交差点”の4車線化 平成26年度に完成予定！

国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所

常磐バイパスでは、朝夕の渋滞を緩和するために、**4車線に拡幅する工事**を進めています。
宮ノ下交差点～六枚内交差点の1.3km区間は、**平成26年度の完成**を目指して橋梁の架設工事を実施中です。

宮ノ下地区で10基の橋脚が完成



①杭打ち

橋脚を支える基礎となる杭を地中に打ち込みました。

組んだ型枠にコンクリートを流し込み、コンクリートが固まったあと、型枠を取り外しました。



②鉄筋の組み立て



③型枠を組みコンクリートを打設し橋脚が完成

鉄筋を組み立てて、橋脚の形を作りました。橋脚の骨組みになります。



泉地区で橋桁を架設



①橋桁の架設

②橋が完成

橋脚の上に橋桁を架けて、車が走行する場所を作りました。

完成すると平方面に2車線で走行可能に！

【完成イメージ図】

③

国道6号“御城前交差点・玉川交差点”がスムーズに！ 右折レーン等の設置工事を進めています。

国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所

朝夕の渋滞の緩和と交通事故の削減を図るために、御城前交差点と玉川交差点で右折レーン設置や歩道の整備などを進めています。

新しい玉川歩道橋が完成

平成22年12月、玉川交差点の拡幅に伴い架け替え工事を進めていた玉川歩道橋が完成。小名浜三小の児童を招いて、渡り初めを行いました。新しい歩道橋の色(タークブラウン)は同小の児童に決めてもらいました。



歩道橋を夜間に架設 新しい歩道橋の渡り初め

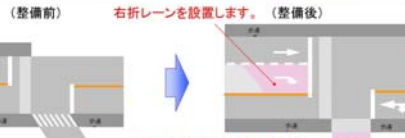


玉川歩道橋 完成記念 みんなで記念撮影



【御城前交差点の渋滞状況】

【玉川交差点の渋滞状況】



【交差点改良工事のイメージ】

完成すると交差点がスムーズに走れるようになります。

④

勿来地区の道路に関するアンケートを行いました。 “約8割の方が道路の課題を指摘！”

国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所



1. アンケート調査

平成23年2月に勿来地区において道路に関するアンケート調査を実施し、沿線住民の方や道路利用者の方から回答をいただきました。

【アンケート結果の概要】

国道6号勿来地区の沿線の住民と道路利用者・学校関係者、民営、その他関係機関（商工会議所、漁協組合、観光協会、自然環境団体等）の代表者に調査依頼しました。（配布数111票、有効回答数70票、回収率63%）

- 道路の幅が狭く、歩道も不十分である等、約8割が道路構造に課題あり
- 危険を感じ、事故も多い等、約8割が交通安全面の課題あり
- 朝夕や休日、観光シーズンに渋滞する等、約8割が交通渋滞の課題あり
- 常磐道通行止め時や事故、災害時の代替路として、約5割が代替機能不足の課題あり

■道路構造

- ・勿来駅前や県境付近の道路の幅が狭すぎる。
- ・見通しが悪いので、国道に出づらい。
- ・道路の補修工事が多すぎる。



■交通安全面

- ・車道左側の余裕幅が狭い。急な飛び出し時は危険。
- ・勿来駅への右折時に危険を感じる。
- ・道路の拡幅により逆に事故が増える感がある。

■交通渋滞

- ・土日や海水浴シーズンは渋滞して困っている。
- ・右折待ち車両が原因となる渋滞が多い。

■自由回答

- ・国道6号のバイパスの南側延伸整備を望む。
- ・日常渋滞する箇所は決まっているので、その原因を調べ、対策(道路の拡幅等)をしたほうがよい。
- ・御城前交差点や勿来駅前交差点で右折レーンの確保が必要。
- ・通り抜けの車と生活道路として使っている車が混在しているので危険。側道のようなものがあると良い。
- ・朝夕の通勤圏への送迎時の渋滞を解消してほしい。右折レーンの設置や4車線化の整備に期待する。
- ・北茨城市と連携した道路づくりも考慮してほしい。

今後も勿来地区における道路のあり方について、引き続き検討を進めて参ります。

ご意見等がありましたら右記までお寄せください。 調査課:TEL0246-23-0963 FAX0246-25-0241

2. 東日本大震災時の道路状況

【津波の状況】



- 御城前交差点付近の約300mが浸水による被災を受けました。
- 今回の東日本大震災では約2日間に渡り津波警報が続き、これに伴う通行止めにより広域的な迂回が強いられました。常磐道も緊急車両のみ通行可としていたため、物流が途絶えいわき市勿来地区はまさに島の孤島となりました。

【陥没による渋滞の状況】3/15

③福島県内、県境付近の渋滞状況



④茨城県内、県境付近の渋滞状況



- 3/15午前中、東京電力第一原発から30km圏内に屋内退避指示が出され、茨城方面に避難する車両により国道6号が限集(福島-茨城)を挟んで大渋滞となりました。